

 KING JIM

# FILING ● navi

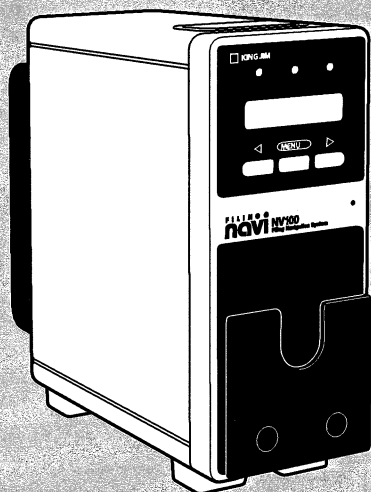
ファイリングナビゲーションシステム

「ファイリング・navi」  
コントロールキット  
メインユニット NV100

## 取扱説明書

**施工業者様へ**

この説明書は保守及び安全に使用いただくために  
必ずお客様へお渡しください。



# はじめに

このたびは、ファイリングナビゲーションシステムをお買い上げいただきありがとうございます。

本書は「ファイリング・navi」メインユニットの設定方法や使い方、コントロールキットのセットアップ方法を説明しています。ご使用前に、必ずお読みください。

取扱説明書には操作方法以外にも、使用上の注意などを記載しています。いつもお手元においてご利用ください。

ファイリングナビゲーションシステムを本書とともに末永くご愛用いただけますよう、心からお願い申し上げます。

なお、本製品には保証書が同梱されています。保証書は、必ず「販売店名」「購入日」などの記入を確認し、販売店からお受け取りください。

●メインユニットは、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●メインユニットは、電波法に基づき総務省指定 第BC-05005号の指定型式を受けたユニットを内蔵した誘導式読み書き通信設備です。使用周波数は、13.56MHz帯です。本機を分解したり、改造したりすると、法律により罰せられることがあります。周囲に複数のリーダライタをご使用の場合、充分に間隔をあけてお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線機が近くにないことを確認してお使いください。

## ●医用機器への影響

本装置は、電波を使用したRFID機器のリーダライタであり、アンテナ部より高周波の電波を放射します。本装置は、設置環境と使用方法によっては「医用機器および植え込み型心臓ペースメーカー等装着者等」へ影響を与えるおそれがあります。

影響防止のために、植え込み型医用機器装着者は、装着部位を据置きタイプ、モジュールタイプのRFID機器のアンテナ部より22cm以内に近づかないでください。

## ●RFIDステッカーの貼り付け

メインユニット、またはキャビネットアンテナを設置するキャビネットの見やすい位置にキャビネットアンテナ同梱のRFIDステッカーを貼り付けてください。

RFIDステッカーは、社団法人日本自動認識システム協会が、植え込み型医用機器の装着者に対して、RFID機器の設置場所等をわかりやすくし、注意を促すために設定したもので、RFID機器の利用者に配布し貼り付けをお願いしているものです。

RFIDステッカーはキャビネットアンテナ（CBAT-900）に同梱されています。



RFIDステッカー

- この製品は、日本国内専用です。
- 本書の内容の一部またはすべてを無断で転載することはおやめください。
- 本書の内容は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の作成には万全を期しておりますが、万一、ご不明な点、誤り、記載漏れなどお気づきの点がございましたら、当社までご連絡ください。

## !!注意!!

- 本機やパソコンなどに保存したデータは、長時間・永久的な保存はできません。故障、修理、検査などに起因するデータの消失の損害および逸失利益などにつきましては、当社ではいっさいその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書に記載されていない操作は行わないでください。事故や故障の原因になることがあります。

「キングジム」、KINGJIM、「ファイリング・navi」、「ファイリングナビゲーションシステム」はいずれも株式会社キングジムの商標または登録商標です。

Microsoft®、Windows®は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

「FeliCa」は、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式で、ソニーの登録商標です。



その他記載の会社名及び商品名は、各社の商標または登録商標です。

# 安全上のご注意…必ずお守りください!







お使いになる方や他の人々への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただきたい事項を次のように表示しています。








本機をご使用のときは、必ず取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、取扱説明書は不明な点をいつでも解決できるように、すぐ取り出して見られる場所に保管してください。






●表示された指示内容を守らずに、誤った使用によって起こる危害および損害の度合いを、次のように説明しています。


	<b>警告</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を守らずに、誤った使いかたをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容を示しています。

●次の絵表示で、お守りいただきたい内容を区別して説明しています。

	 表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	 表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	 表示は、必ず実行していただきたい「強制」内容です。


 <b>警告</b>	<b>ACアダプタについて</b>		
		同梱の専用ACアダプタ(AS1215J)以外のACアダプタは、使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。	
		ACアダプタは、指定された電源電圧以外の電圧では使用しないでください。故障したり、過熱、発煙するおそれがあり、火災・感電の原因となります。	
		ACアダプタのコードを引っ張ったり、コードの上に重いものをのせないでください。火災・感電の原因となります。	


 <b>警告</b>	<b>その他</b>		
		本機を踏んだり、落としたり、叩いたりなど、強い力や衝撃を与えないでください。破損することがあり、火災・感電の原因となります。破損した場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。	
		ぬれた手で本機やACアダプタ、プラグを操作しないでください。故障や火災・感電の原因となります。	







警告


**その他**

 本機や取扱説明書が入っていた袋は、お子様がかぶらないように、手の届かないところに保管または破棄してください。窒息のおそれがあります。

 本機にお茶、コーヒー、ジュースなどの飲物をこぼしたり、殺虫剤を吹きかけたりしないでください。故障や火災・感電の原因となります。水などをこぼした場合には、電源を切りACアダプタをコンセントから抜き、販売店へご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


 本機を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。また、本書に記載されていない操作はしないでください。事故や故障の原因となります。





注意




**マグネットについて**

 本機の足裏面にはマグネットを使用しております。時計・磁気テープ・磁気カードなど磁気の影響のあるものは近づけないでください。記録内容の消去や故障の原因となるおそれがあります。

**その他**

 本機の上に物をのせたり、ぐらついた台や傾いているところなど、不安定な場所に本機を置かないでください。落下したり、倒れたりしてけがをするおそれがあります。

 電源が入っている状態でACアダプタを抜かないでください。正常に動作できなくなるおそれがあります。

**その他のご注意**

- 本機の使用にあたっては「安全上のご注意」をよくお読みになり、その指示に従ってください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具や熱器具の近くなど温度が異常に高い場所や低い場所、湿気やホコリの多い場所でのご使用、保管はおやめください。
- ACアダプタ差込み口・RS-232Cコネクタ・LANコネクタなどに物をつめたり、ふさいだりしないでください。
- キー操作はていねいにおこなってください。乱暴な操作は故障の原因となります。また、ペン先などの鋭利なものでのキー操作は絶対におやめください。
- 「IDラベル・navi」は取扱説明書で指定する位置に貼り付けてください。指定位置以外に貼り付けると、正しく読み取りがおこなえません。
- RFIDタグ付きファイルに金属類(光学ディスク含む)を収納しないでください。金属の影響により正しく読み取りがおこなえません。
- RFIDタグ付きファイルにICカード・RFIDタグを収納しないでください。正しく読み取りがおこなえません。
- 金属製のキャビネットにセットしてご使用ください。その他の材質のキャビネットでは、正しく動作しません。
- 可動式キャビネットや引き出し式キャビネットには対応していません。
- 本システムにはID規格マークがついている「キングファイル・navi」「IDラベル・navi」をご使用ください。他のRFIDタグでは正しく読み取りがおこなえません。
- 取扱説明書に記載された内容・仕様・デザインなどは予告なく変更されることがあります。

# 目次

## はじめに 1

- 安全上のご注意…必ずお守りください! . . . . . 3
- 取扱説明書の構成 . . . . . 6
- 同梱品の確認 . . . . . 7
- 別売品のご案内 . . . . . 8
- お客様にご用意いただくもの . . . . . 9
- 本システムの特徴 . . . . . 10
- 各部の名前とはたらき . . . . . 12

## 1. セットアップ編 14

- セットアップの流れ . . . . . 15
- メインユニット接続設定 . . . . . 16
- キャビネットアンテナ (CBAT-900) の用意 . . . . . 18
- アンテナケーブルの配線 . . . . . 21
- マルチセレクタ・R/Wコントローラの接続 . . . . . 23
- メインユニットの設置 . . . . . 25
- 補助板の設置 . . . . . 26
- ネットワーク接続の準備 . . . . . 27

## 2. 本体操作編 28

- メニュー操作 . . . . . 29
- 管理者メニュー操作 . . . . . 32

## 3. 付録 39

- 「IDラベル・navi」貼り付け位置 . . . . . 40
- 故障かなとおもったら . . . . . 41
- エラーメッセージ一覧 . . . . . 43
- お手入れについて . . . . . 44
- おもな仕様 . . . . . 45
- アフターサービスについて . . . . . 46

# 取扱説明書の構成

ファイリングナビゲーションシステムの取扱説明書は、下記のように構成されております。  
ご利用の目的にあわせてお読みください。

## 「メインユニット」取扱説明書(本書)

「メインユニット」の操作方法ならびに「コントロールキット」のセットアップについて説明しています。

## 「Device Installer」取扱説明書(NV-S10同梱CD-ROM PDF取扱説明書)

「メインユニット」のIPアドレス設定方法について説明しています。

参照→P.6「PDF取扱説明書の見かた」

## 「デスクトップリーダライタ」取扱説明書(DTR-HM602同梱取扱説明書)

「デスクトップリーダライタ」ドライバのインストール方法について説明しています。

## 「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)取扱説明書(NV-S10同梱取扱説明書)

「ファイリング・navi」のインストール方法や、使用方法について説明しています。

## セットアップ取扱説明書(NV-S10同梱CD-ROM PDF取扱説明書)

「ファイリング・navi」のセットアップ方法全般について説明しています。

参照→P.6「PDF取扱説明書の見かた」

### ●本書の見方

はじめてセットアップをおこなう場合

#### 「1.セットアップ編」をご覧ください。

はじめに本機ならびにコントロールキットのセットアップを完了させてください。

コントロールキットのセットアップが  
終了している場合

#### 「2.本体操作編」をご覧ください。

「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)の  
使用方は、NV-S10同梱取扱説明書を  
参照してください。

### ●PDF取扱説明書の見かた

「Device Installer」の使用方法ならびにセットアップ取扱説明書は、「ファイリング・navi」NV-S10同梱CD-ROMに収録されている、PDF取扱説明書をご覧ください。

- ①パソコンを起動し、NV-S10同梱CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする
- ②「Device Installer」取扱説明書またはセットアップ取扱説明書をダブルクリックする

!!注意!!

●アドビリーダーをインストールされていない方、取扱説明書の内容が正常に表示できない方はアドビリーダーをインストールしてください。

# 同梱品の確認

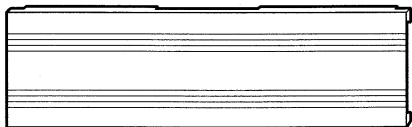
 <p>●メインユニット:NV100 ×1</p>	 <p>●RWコントローラ ×1</p>	 <p>●マルチセレクタ ×1</p>	
 <p>●メインユニット専用 ACアダプタ:AS1215J プラグ形状:L字 ケーブル長さ:3m ×1</p>	 <p>●RWコントローラ専用 ACアダプタ:US315-12 プラグ形状:ストレート ケーブル長さ:1.5m ×1</p>	 <p>●シリアルケーブル (RS-232Cクロス接続) ×1</p>	
 <p>●セレクタケーブル ×1</p>	 <p>●アンテナケーブル ×1</p>	 <p>●アース線 ×2</p>	
 <p>●分割コア ×1</p>	 <p>●ANPベース ×10</p>	 <p>●マル端子 ×2 ●アース専用ネジ ×2</p>	 <p>●カシメナット ×1 ●結束バンド ×11</p>
 <p>●取扱説明書 ×1</p>	 <p>●クロックオンカード (FeliCa対応 非接触ICカード) ×3</p>	 <p>●セットアップガイド ×1</p>	 <p>●保証書 ×1</p>



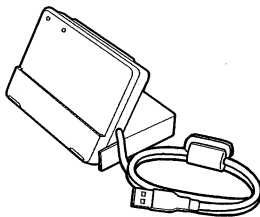
# 別売品のご案内



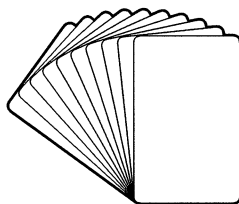
- ファイリング・navi (PCソフトウェア):  
NV-S10



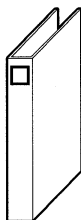
- キャビネットアンテナ (900mm幅):  
CBAT-900 (日本信号社製)



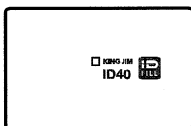
- デスクトップリーダー:  
DTR-HM602 (日本信号社製)



- クロックオンカード: CF10K  
(FeliCa対応非接触ICカード ×10)



- キングファイル・navi  
(RFIDタグ内蔵ファイル)



- IDラベル・navi: ID40  
(RFIDタグラベル×20枚)

別売品や本体ソフトのアップデートなど最新情報は、当社のホームページをご覧ください。  
当社ホームページ: <http://www.kingjim.co.jp/>

# お客様にご用意いただくもの

○「ファイリング・navi」NV-S10 (PCソフトウェア)

○パソコン

Windows XP Windows XP Professional (Service Pack 2) 日本語版  
※32bit版のみ 64bit版は非対応  
CPU : Intel®Pentium®4 2.4GHz以上 または  
Intel®Core™Duo クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ  
メモリ : 1GB以上 推奨2GB

Windows Vista Windows Vista Home Premium, Business, Ultimate 日本語版  
※32bit版のみ 64bit版は非対応  
CPU : Intel®PentiumD® 3.2GHz以上または  
Intel®Core™Duo クラスのプロセッサを搭載したパーソナルコンピュータ  
メモリ : 2GB以上 推奨3GB以上

ハードディスク 10GB以上の空き容量のあるハードディスク  
その他 1,024×768 (XGA) 以上の画面解像度をサポートするディスプレイ  
CD-ROMドライブ

## !!注意!!

- 対応OS以外、また推奨スペック以下のパソコンでは正しく動作しないおそれがあります。必ず推奨スペック以上のパソコンをご使用ください。
- 「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)を動作させるために、「Microsoft .NET Framework 2.0 (日本語版)」「Microsoft SQL Server 2005 Express Edition」がインストールされます。  
参照→「ファイリング・navi」NV-S10取扱説明書

○デスクトップリーダライタ DTR-HM602

○キャビネットアンテナ CBAT-900

○プリンター

背見出しを印刷します。推奨プリンター：A3用紙対応カラープリンター

○ラベルライター

キングジム製のラベルライター「テブラ」PROから背見出し・ラベルを印刷することができます。

## !!注意!!

- 「テブラ」の対応機種など最新情報は、当社のホームページをご覧ください。  
当社ホームページ：<http://www.kingjim.co.jp/>

○LANケーブル(10BASE-T/100BASE-TX ストレート接続)

お客様のネットワーク環境に接続するためのLANケーブル

○キャビネット

対応キャビネットサイズ 900mm幅・有効内寸法875mm以上

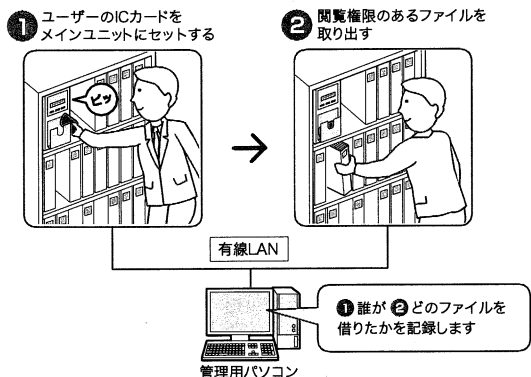
キャビネットの内寸が大きい場合、RFIDタグが読み取り範囲に入るように調整してください。

## MEMO

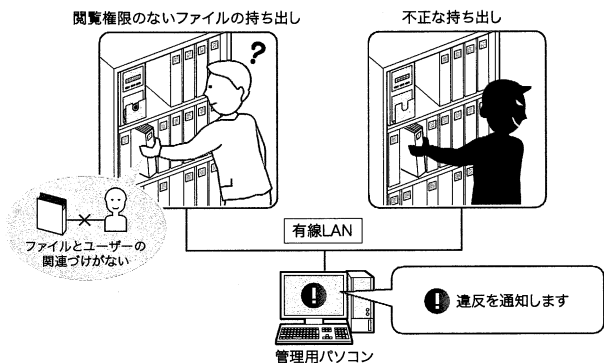
- メインユニットのIPアドレスの設定は、Lantronix社の「Device Installer」を使用します。  
お客様ご自身でIPアドレスを設定する場合には、「Device Installer」がインストールされたパソコンとメインユニットをLANケーブル(10BASE-T/100BASE-TX クロス接続)で接続し設定します。  
参照→「Device Installer」取扱説明書(NV-S10同梱CD-ROM PDF取扱説明書)

# 本システムの特徴

- 本システムは「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)や「RFIDタグ付きファイル」「クロックオンカード (FeliCa対応非接触ICカード)」との組み合わせにより、効率的にファイルの管理をおこなうことができます。
- ご使用の金属製キャビネットにキャビネットアンテナを設置することができます。
- ファイリングルールに基づいて、ファイルを管理することができます。
- 管理内容にあわせたファイルの背見出し印刷をおこなえます。
- 貸し出しの管理がおこなえます。  
【貸し出し状況の監視がおこなえます。】



【閲覧権限の違反や不正持ち出しの通知がおこなえます。】



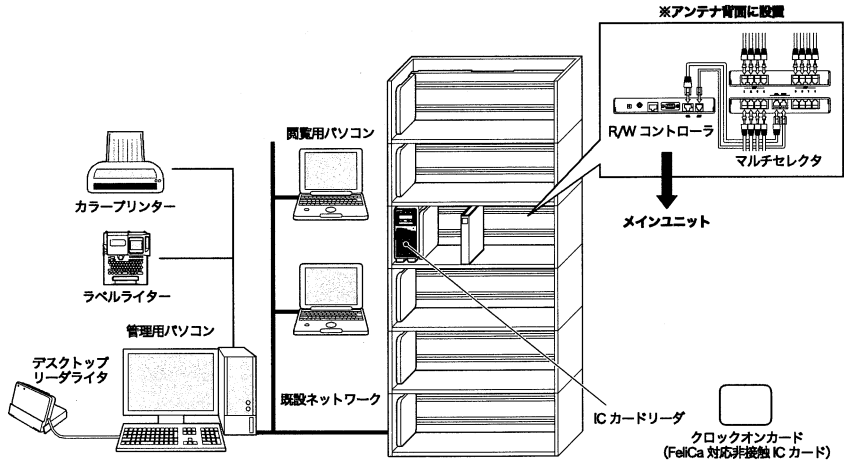
!!注意!!

## 【パソコンと通信が切断している場合は】

- 通信切断時は、メインユニット本体メモリに貸し出し情報やエラー履歴が保存されます。パソコンと通信を再度確立すると、保存していたメモリ情報を自動的に送信します。
- エラー履歴は最大14日分保存されます。14日分以前のエラー履歴は自動的に削除されますので、ご注意ください。
- 通信切断時は、閲覧情報をパソコンから取得できないため、閲覧権限違反は監視できません。不正持ち出しのみ監視できます。  
また、ファイル位置違反も監視できません。ご注意ください。

○本システムはお客様の既存ネットワーク環境に接続することができます。

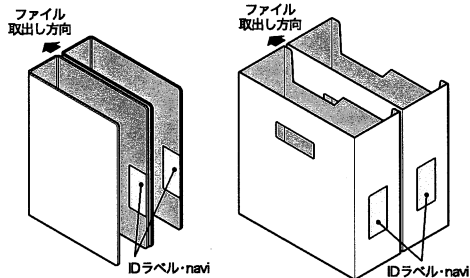
**【システム構成図】**



!!注意!!

- 他のパソコンやネットワーク機器と重複しないIPアドレス値を設定してください。また、ルーターがDHCPサーバになっている場合やネットワーク上に別途DHCPサーバがある場合は、DHCPサーバが割り当てるIPアドレスの範囲と重複しない値を設定してください。詳しくはネットワーク管理者に確認してください。
- 本システムは、ルーターを超えた通信はおこなえません。

○管理できる最大ファイル数(キャビネット1段あたり)



	垂直方向	水平方向
アンテナ幅900mm	18冊	13冊
タグの配置間隔	45mm以上	10mm以上

参照→P.40「IDラベル・navi」貼り付け位置」

**MEMO**

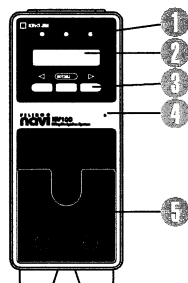
- 本システムは、メインユニットを5台まで接続し、5キャビネット分の書庫を管理することができます。
- 本システムは、1キャビネットあたり、6段分のキャビネットアンテナを接続することができます。

# 各部の名前とはたらき

## ●本体正面

### ① ランプの説明

- ・POWERランプ(緑)  
電源OFF時:消灯/電源ON時:点灯
- ・LINKランプ(緑)  
通信時:点灯/切断時:消灯
- ・MEMORYランプ(橙)  
メモリ使用容量60%未満:消灯  
メモリ使用容量60~80%:1秒点灯/2秒間消灯(繰り返し)  
メモリ使用容量80~90%:1秒点灯/1秒間消灯(繰り返し)  
メモリ使用容量90%以上:点灯状態



!!注意!!

●メモリ容量をオーバーしないように、定期的にはパソコンと通信し、データを送信してください。

### ② ディスプレイ

本体の情報を表示します。

※画面の詳しい説明については、各操作画面を参照してください。

待機画面時

10:09:59 MON

③

- ・左カーソルキー:前の状態に戻るときや、数値を増やすときに使用
- ・MENUキー:MENUを表示するときや、操作を確定するときを使用
- ・右カーソルキー:次の状態に進むときに使用

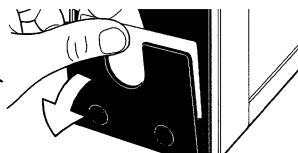
### ④ ブザー

- ・起動音:ビ(1回)…電源を入ると起動音が鳴ります。
  - ・通信確立音:ビピッ(1回)…パソコンと通信が確立すると通信確立音が鳴ります。
  - ・ICカードセット音:ビ(1回)…ICカードを検知するとセット音が鳴ります。
- ※エラー音についてはエラー一覧を参照ください。  
参照→P.43「エラー一覧」

### ⑤ ICカードホルダー

☑マーク部分にあわせてICカードをセットしてください。

ICカードホルダーを手前に倒すことで、容易にICカードをセットすることができます。



!!注意!!

●カードをセットする際、電波を妨げるもの(導電性のあるもの)と一緒にセットすると認識できません。以下のものとは離してセットしてください

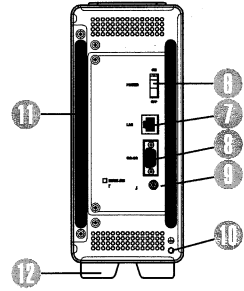
- 他の非接触ICカード ○タバコの銀紙やスクラッチカードなどアルミ箔を使用したもの
- コイン・貴金属・鍵などの貴金属類 ○銀色地のポイントカード類

●ICカードホルダーは過度の力をかけすぎないでください。破損するおそれがあります。

●ICカードはカードケースごとセットできます。首掛ひもではなくカードケース本体を持って操作してください。ひもが引っかかるなど、思わぬ事故をふせぐことができます。

## ●本体背面

- ⑥ 電源スイッチ
- ⑦ LANコネクタ (RJ-45コネクタ)  
10BASE-T/100BASE-TX対応
- ⑧ RS-232Cコネクタ (D-sub9ピン)  
同梱のシリアルケーブル (クロス接続) を接続してください。
- ⑨ ACアダプタ差込み口  
同梱のACアダプタ (AS1215J) をご使用ください。
- ⑩ アース接続部  
アース線を接続します。



**!!注意!!**

●誤動作防止のため、アース線の接続を推奨いたします。

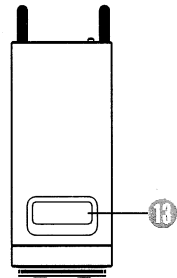
- ⑪ ハンドル  
設置時に、手をかけてご使用ください。
- ⑫ 足  
裏面にはマグネットがついており、金属製のキャビネットに固定することができます。

**!!注意!!**

●時計・磁気テープ・磁気カードなど磁気の影響のおそれがあるものは近づけないでください。

## ●本体上面

- ⑬ 手がかり  
キャビネットから取り外すときに、手をかけてご使用ください。



# 1. セットアップ編

- セットアップの流れ
- メインユニット接続設定
- キャビネットアンテナ (CBAT-900)の用意
- アンテナケーブルの配線
- マルチセレクタ・R/Wコントローラの接続
- メインユニットの設置
- 補助板の設置
- ネットワーク接続の準備

- セットアップ作業には、ネットワークの通信設定やキャビネットの穴開けなどの作業が必要となる場合があります。作業に自信のない場合には、施工業者にセットアップをご依頼ください。
- セットアップ作業を施工業者へご依頼されたお客様も、システムの保守・メンテナンス情報が記載されておりますので、必要にあわせて「セットアップ編」をご参照ください。

# セットアップの流れ

「ファイリング・navi」を運用するには、各機器のセットアップが必要です。  
各機器の取扱説明書を参照しながら、以下の順序でセットアップをおこなってください。

- 1** **PCソフトウェア取扱説明書**  
「ファイリング・navi」をインストールする  
→「ファイリング・navi」NV-S10取扱説明書(PCソフトウェア)を参照してください。
- 2** **デスクトップリーダライタ取扱説明書**  
デスクトップリーダライタのドライバをインストールする  
→「デスクトップリーダライタ」DTR-HM602取扱説明書を参照してください。
- 3** **Device Installer取扱説明書**  
メインユニットのIPアドレスを設定する  
→「Device Installer」PDF取扱説明書(NV-S10同梱CD-ROM収録)を参照してください。
- 4** **本書の説明範囲**  
メインユニットの接続情報を設定をする →P.16  
キャビネットアンテナを用意する →P.18  
アンテナケーブルを配線する →P.21  
マルチセレクタ・R/Wコントローラを接続する →P.23  
メインユニットを設置する →P.25  
補助板を設置する →P.26  
ネットワーク接続の準備をする →P.27
- 5** **セットアップ取扱説明書**  
接続設定ソフトで通信を確認する  
→「「ファイリング・navi」セットアップ」PDF取扱説明書(NV-S10同梱CD-ROM収録)を参照してください。
- 6** **PCソフトウェア取扱説明書**  
「ファイリング・navi」を起動する  
→「ファイリング・navi」NV-S10取扱説明書を参照してください。

## MEMO

●セットアップの一連の手順は「ファイリング・navi」セットアップ取扱説明書に記載してあります。必要にあわせてご参照ください。



# メインユニット接続設定

接続設定は「接続設定メニュー」よりおこないます。

P.15セットアップの流れ①～③が完了していることを確認してください。

## 1. 接続設定メニューの入り方

- 1 【MENU】キーを押しながら、電源スイッチをONにする

LINKランプが2秒間点灯します。

- 2 LINKランプ点灯中に【MENU】キーを押したまま、【←】キーを2回押す

正しく入力された場合には、接続設定メニューが表示されます。

セツゾクセッテイメニュー  
ID SETTING

!!注意!!

●正しくキー入力がおこなわれなかった場合には、LINKランプが消え、初期画面が表示されます。

ファイリング・navi  
Ver 1.00TM

電源をOFFにして、再度、【MENU】キーを押したまま電源スイッチをONにし、キー入力をやり直してください。

### MEMO

- 3分間無操作状態が続くと、自動的に再起動し、通常メニューに復帰します。

## 2. 管理用パソコンのIPアドレス設定

接続先の管理用パソコンIPアドレスを設定します。

- 1 接続設定メニューに入る
- 2 【←】【→】キーを押して、「PC SETTING」を選択する

セツゾクセッテイメニュー  
PC SETTING

- 3 【MENU】キーを押す
- 4 管理用パソコンのIPアドレスを設定する

PCアドレス  
192.168.000.069

【←】を押すと数値が「+1」されます。

【→】を押すとカーソルが右に移動します。カーソルが末尾にある場合には先頭に移ります。

【MENU】を押すと設定確認画面に移動します。

### MEMO

- 初期値「192.168.000.069」が入力されています。

- 5 【→】キーを押して、「YES」を選択する  
設定情報を確認します。

セッテイOK?  
NO YES

- 6 【MENU】キーを押す  
設定情報を確認し、再起動します。
- 7 電源をOFFにする  
セットアップ作業が完了するまで、電源をOFFにしておいてください。

### 3. 棚の段数設定

棚の段数を設定します。

- 1 接続設定メニューに入る
- 2 [←][→]キーを押して、「タナダン SETTING」を選択する

セツゾクセツテイメニュー  
タナダン SETTING

- 3 [MENU]キーを押す
- 4 棚の段数を設定する

タナダンスウ  
6

[←]を押すと数値が「+1」されます。  
[→]は無効なキーです。  
[MENU]を押すと設定確認画面に移動します。  
設定できる段数は最大で6段です。

- 5 [→]キーを押して、「YES」を選択する

セツテイOK?  
NO YES

### 4. 本体ID設定

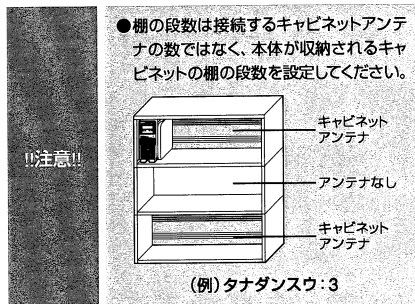
本体IDを設定します。初期値では「00001」となっています。複数の「メインユニット」を管理する場合には、それぞれに個別の本体IDを設定してください。

- 1 接続設定メニューに入る
- 2 [←][→]キーを押して、「ID SETTING」を選択する
- 3 [MENU]キーを押す

セツゾクセツテイメニュー  
ID SETTING

- 6 [MENU]キーを押す

設定情報を確定し、再起動します。



- 7 電源をOFFにする

セットアップ作業が完了するまでは、電源をOFFにしておいてください。

## 5 【←】キーを押して、「YES」を選択する

設定情報を確定します。

セッテイOK?  
NO YES

## 6 【MENU】キーを押す

設定情報を確定し、再起動します。

## 7 電源をOFFにする

セットアップ作業が完了するまでは、電源をOFFにしておいてください。

!!注意!!

- メインユニットを複数接続する場合には、必ず個別の本体IDを設定してください。重複した本体IDでは管理用パソコンに接続することはできません。
- セットアップ作業が完了するまでは、本機の電源をOFFにしておいてください。ネットワーク接続準備完了後、再度、電源をONにします。  
参照→「セットアップ」取扱説明書 (PDF取扱説明書)

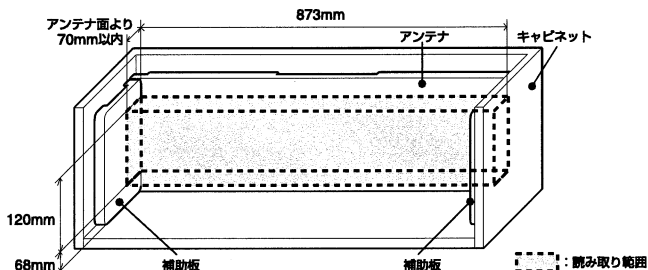
### MEMO

- 「ファイリング・navi」運用中は、本機の「カンリシャメニュー」で設定を変更することができます。  
参照→P.33「本体ID設定」、P.35「管理用パソコンのIPアドレス設定」「棚の段数設定」

# キャビネットアンテナ(CBAT-900)の用意

## 1. キャビネットアンテナの読み取り範囲

「キャビネットアンテナ」でRFIDタグを読み取れる範囲は以下の通りです。



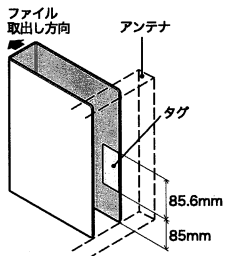
!!注意!!

- RFIDタグ全体が読み取り範囲に入るようにセットしてください。  
RFIDタグ全体が読み取り範囲内に入っていないと、読み取りできない、または読み取りが不安定になり、読み落としが発生する場合があります。

## MEMO

- 「キングファイル・navi」のRFIDタグ位置は、下記の位置に内蔵されています。

RFIDタグがキャビネットアンテナの読み取り範囲に入るように、必ずファイルをアンテナ面にまっすぐ突き当ててセットしてください。



注意!!

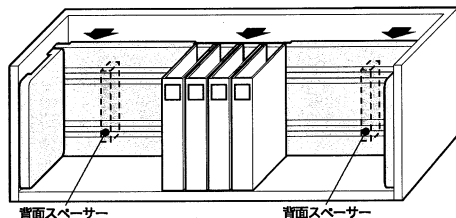
- 「IDラベル・navi」を使用する場合は、キャビネットアンテナの読み取り範囲に入るように貼り付けてください。参照→P.40「IDラベル・navi」貼り付け位置
- RFIDタグが金属部に接触していると正しく読み取りがおこなえません。キャビネットの端面にファイルをセットする場合には、必ず補助板を設置してください。補助板はキャビネットアンテナ設置完了後に設置します。参照→P.26「補助板の設置」

## 2. 設置スペースの確認

キャビネットの奥行き寸法やセットするファイルの大きさにあわせて、「背面スペーサー」が必要か確認します。

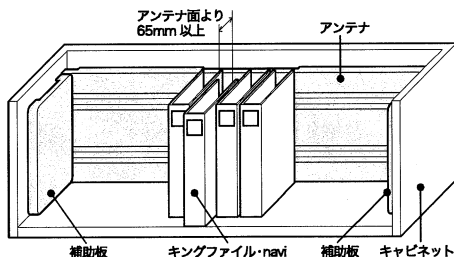
### ●背面スペーサーの効果

キャビネットアンテナとRFIDタグ付きファイルの間に隙間があると、正しく読み取りがおこなえません。キャビネットの奥行きが広い場合には、背面スペーサーを設置してください。キャビネットアンテナが読み取りできないスペースを減らすことで、RFIDタグ付きファイルを読み取り範囲内にセットしやすくする効果があります。また、キャビネットの前面にファイル面をきれいにそろえることで見栄えも良くなり、管理しやすくなります。



## MEMO

- A4サイズタテ型ファイル（奥行き243mm）とキャビネットアンテナの間が65mm以上ある場合には背面スペーサーをセットします。
- A4サイズヨコ型ボックスファイル（奥行き317mm）の場合には、背面スペーサーは必要ありません。

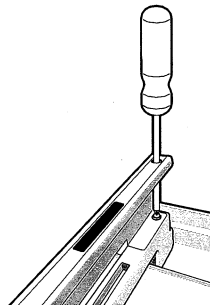


!!注意!!

- 「キングファイル・navi」と「IDラベル・navi」を貼り付けたボックスファイルなど、RFIDタグ方向の違いの種類のファイルを同じ段で管理すると、正しく読み取りがおこなえません。キャビネット各段には、必ず同じ種類のRFIDタグ付きファイルを管理してください。
- ID規格マークがついているシステム以外に「キングファイル・navi」「IDラベル・navi」をセットしないでください。正しく読み取れないおそれがあります。

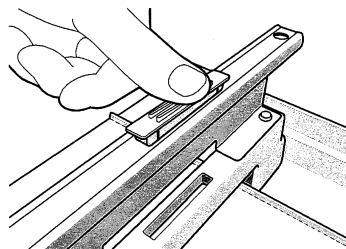
### 3. 背面スペーサーの取り付け

「背面スペーサー」が必要な場合には、「キャビネットアンテナ」同梱のネジを使用して、「背面スペーサー」を取り付けてください。片側2ヶ所ずつ固定します。同梱品の確認は「キャビネットアンテナ」同梱取扱説明書を参照してください。



### 4. マグネットの取り付け

キャビネット設置用に、「マグネット」を取り付けます。「キャビネットアンテナ」本体もしくは「背面スペーサー」の左右のマグネット取り付け穴に、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

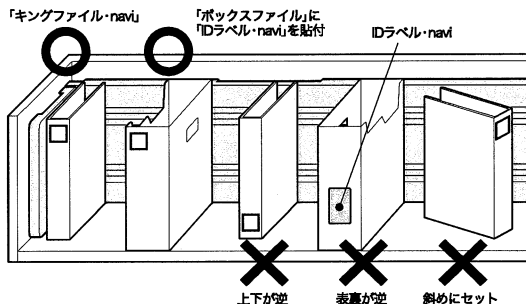


!!注意!!

- マグネットは一度取り付けると、取り外すことが困難です。必ず、事前に背面スペーサーが必要かどうか、設置スペースを確認してください。

#### MEMO

<ファイル設置例>

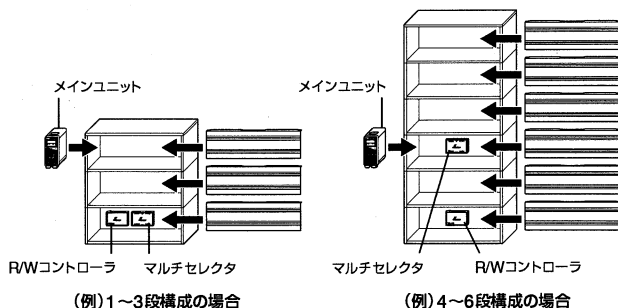


# アンテナケーブルの配線

## 1. 機器の設置場所を決める

「メインユニット」「マルチセレクタ」「R/Wコントローラ」を設置する場所を決めます。

「メインユニット」は、ICカードをセットしてファイル貸し出しを管理するため、ICカードをセットしやすい位置に設置してください。



### MEMO

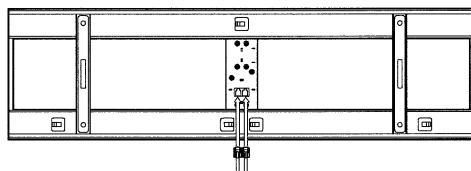
- マルチセレクタ・R/Wコントローラの配置方向はケーブル配線によります。

## 2. アンテナケーブルの配線

### 1 「アンテナケーブル」を「キャビネットアンテナ」に接続する

キャビネットアンテナ1台につき、アンテナケーブルが2本必要となります。

キャビネットアンテナの設置場所にあわせて、アンテナケーブルの長さを調整します。

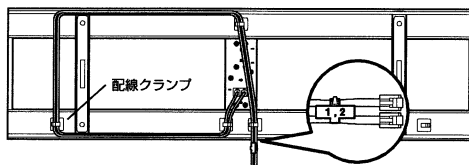


### !!注意!!

- キャビネットアンテナに同梱されているアンテナケーブルを使用してください。他のケーブルでは正しく通信がおこなえません。
- ケーブルがキャビネット中央部を通るように配線してください。
- 余ったケーブルは、小巻きにしてまとめないでください。また、ケーブルが垂れた状態にならないように、ANPベースと結束バンドで固定してください。
- 基板面にアンテナケーブルをまとめて置かないでください。通信状態が悪くなり、正しく通信がおこなえません。

## MEMO

- 事前に同梱の結束バンドで、アンテナケーブルの番号を識別しておくこと、接続間違えを防止することができます。
- アンテナケーブルが余る場合には、キャビネットアンテナの配線クランプを使用して長さを調整してください。



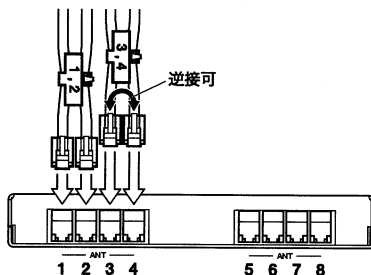
## 2 「キャビネットアンテナ」と「マルチセレクタ」を接続する

段数はキャビネットの下から順番に1段、2段と数えます

1段目のケーブルは、マルチセレクタのアンテナポート番号、①番・②番に接続します。

2段目のケーブルは、マルチセレクタのアンテナポート番号、③番・④番に接続します。

以降、順番にアンテナケーブルを各ポートに接続してください。

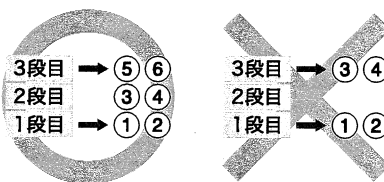


!!注意!!

- 1段目のアンテナポートの接続先は①番と②番どちらに接続しても読み取りがおこなえます。ただし、2段目の接続先アンテナポートである③番や④番など、他段の接続先アンテナポートに接続すると、キャビネットアンテナを正しく認識できずに、読み取りがおこなえません。

## MEMO

- 段をあけてキャビネットアンテナを設置する場合はキャビネットの1段目と3段目のみキャビネットアンテナを設置する場合など、段をあけてキャビネットアンテナを設置するときは、該当の段数にのみアンテナケーブルを接続してください。空いている段には、アンテナケーブルを接続しないでください。また、アンテナポートをつめて接続しないでください。
- 右図のような場合は、メインユニットの棚段数は「3段」に設定します。



(例) タナダンスウ: 3

## 3 「キャビネットアンテナ」を設置する

メインユニットなどの機器を設置する段を除いて、キャビネットアンテナを設置します。

キャビネットアンテナ背面のマグネットで、キャビネットに貼り付けてください。

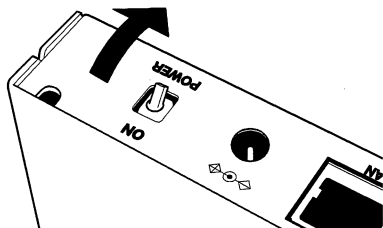
参照→P.20「マグネットの取り付け」

# マルチセレクタ・R/Wコントローラの接続

## 1. 機器の用意

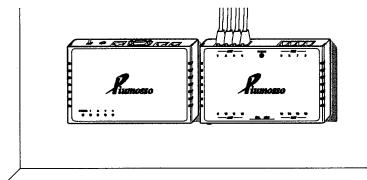
### 1 「R/Wコントローラ」の電源をOFFにする

R/Wコントローラの電源がOFFになっていることを確認します。  
ONになっている場合にはOFFにしてください。



### 2 「マルチセレクタ」と「R/Wコントローラ」を設置する

マルチセレクタ・R/Wコントローラにはマグネットがついています。  
キャビネットの背面に貼り付けてください。

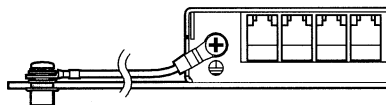


!!注意!!

●接続作業が完了するまで、R/Wコントローラの電源はONにしないでください。

### 3 「マルチセレクタ」に「アース線」を接続する

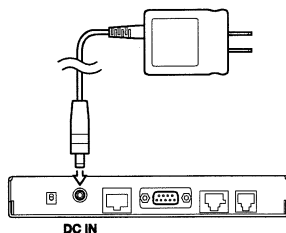
キャビネットのネジ穴や同梱のカシメナットを使用して、アース線を接続します。



!!注意!!

●アースが接続されていないと機器の動作が不安定になります。**必ずアース線を接続してください。**  
●作業に自信のない場合には、施工業者にセットアップをご依頼ください。

### 4 「R/Wコントローラ」に「ACアダプタ」(US315-12)を接続する



!!注意!!

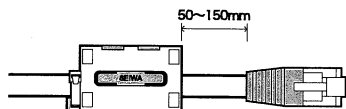
●R/Wコントローラ専用ACアダプタ(US315-12)をご使用ください。メインユニット専用ACアダプタは使用しないでください。



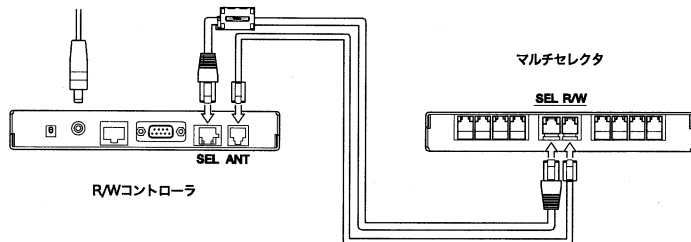
## 2. ケーブルの接続

### 1 「セレクトケーブル」に「分割コア」を取り付ける

R/Wコントローラ側から50~150mm程度の位置に分割コアを取り付け、結束バンドで固定してください。



### 2 「アンテナケーブル」と「セレクトケーブル」を接続する

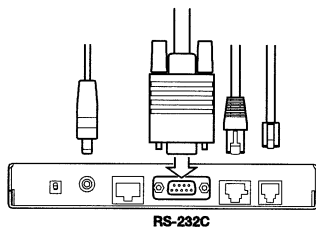


!!注意!!

同梱のケーブル以外使用しないでください。正しく動作しないおそれがあります。

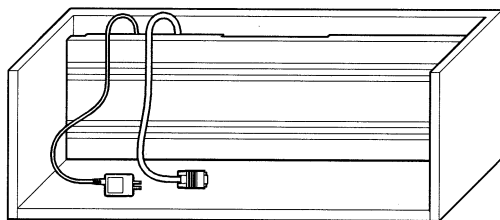
### 3 「R/Wコントローラ」に「シリアルケーブル」を接続する

メインユニット接続用のシリアルケーブルを接続します。



### 4 「キャビネットアンテナ」を設置する

ACアダプタとシリアルケーブルを引き出して、キャビネットアンテナを設置します。



!!注意!!

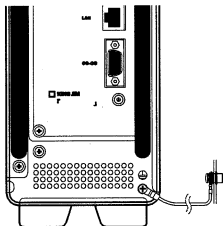
- 全ての接続作業が完了するまで、R/Wコントローラの電源はONにしないでください。
- キャビネットの背面や底面などにACアダプタを接続可能な場合には、シリアルケーブルのみを前面に引き出します。

# メインユニットの設置

## 1. メインユニットの用意

### 1 「アース線」を接続する

キャビネットのネジ穴や同梱のカシメナットを使用して、アース線を接続します。



!!注意!!

- 誤動作防止のため、アース線の接続を推奨いたします。
- 作業に自信のない場合には、施工業者にセットアップをご依頼ください。

## 2. メインユニットの接続

### 1 「R/Wコントローラ」を接続する

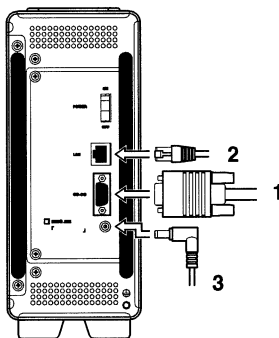
シリアルケーブルを本機のRS-232Cコネクタに接続します。

### 2 LANケーブルを接続する

お客様にご用意いただいたLANケーブルを本機のLANコネクタに接続します。

### 3 「ACアダプタ」(AS1215J)を接続する

ACアダプタをACアダプタ差込み口に接続します。



## 3. メインユニットの設置

ケーブルの接続作業が完了したら、「メインユニット」をキャビネットに設置します。

### ■MEMO■

- LAN・ACアダプタなどのケーブルをキャビネット前面側に配線する場合、本機の足の間にケーブルを通すことができます。

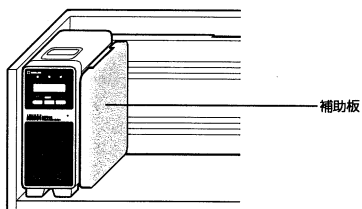
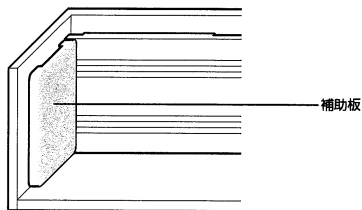
# 補助板の設置

## 1. 補助板を設置する

キャビネットの両端は金属の影響を受けて、RFIDタグの読み取りが不安定になるため、必ず「補助板」を設置してください。

「補助板」にはマグネットがついています。キャビネット側面に貼り付けて設置してください。

「メインユニット」を設置する際は、「メインユニット」に補助板を設置してください。



### ■MEMO■

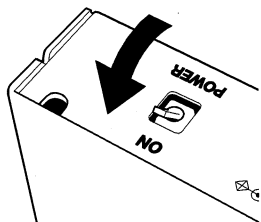
- 挿え込み型医療機器の装着者に注意を促すため、キャビネットアンテナ同梱のJAISAステッカーを本システムの目立つ位置に貼り付けてご使用ください。

参照→P.1「はじめに」

# ネットワーク接続の準備

## 1. R/Wコントローラの電源をONにする

すべての機器の設置ならびにケーブルの配線が完了したら、「ACアダプタ」をコンセントに差込み、「R/Wコントローラ」の電源をONにしてください。



!!注意!!

- メインユニットの電源はまだONにしないでください。  
参照→セットアップ取扱説明書 (NV-S10同梱CD-ROM PDF取扱説明書)

## 2. ネットワークケーブルの配線

LANケーブルを既設のネットワークに接続してください。

- ひきつづき、接続設定ソフトにより、本システムのセットアップをおこないます。
- ファイルの登録方法は、「ファイリング・navi」取扱説明書を参照してください。

5

接続設定ソフトで通信を確認する

→「ファイリング・navi」セットアップ」PDF取扱説明書  
(NV-S10同梱CD-ROM収録)を参照してください。

## 2. 本体操作編

■メニュー操作


■管理者メニュー操作

# メニュー操作

## 1. 本体情報確認

本機の設定情報を確認します。確認できる項目は、「本体ソフトウェアバージョン」「本体ID」「本体シリアル」「通信先PCアドレス」の4項目です。

- 1 [MENU]キーを押す
- 2 [←][→]キーを押して、「セッテイカクニン」を選択する



メニュー  
セッテイカクニン

- 3 [MENU]キーを押す  
現在の本体情報が表示されます。



Soft Ver 1.00TM  
ホンタイID 00001

- 4 [→]キーを押す  
本体シリアルNo.が表示されます。

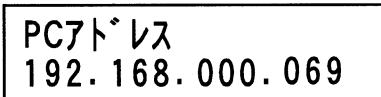


ホンタイシリアルNo.  
\*\*\*\*\*

### ■MEMO■

- 本体背面の銘板にもシリアルNo.が記載されています。

- 5 [→]キーを押す  
接続先の管理用パソコンIPアドレスが表示されます。



PCアドレス  
192.168.000.069

- 6 [MENU]キーを押す  
待機画面に戻ります。

### ■MEMO■

- 設定確認画面で[←][→]キーを押すと、画面を切り替えます。
- 設定確認画面で[MENU]キーを押すと待機画面に戻ります。
- 3分間無操作状態が続くと、自動的に待機画面に戻ります。

## 2. ブザー音量設定

ブザーの音量を設定します。

- 1 【MENU】キーを押す
- 2 [←][→]キーを押して、「ホンタイセッテイ」を選択する

メニュー  
ホンタイセッテイ

- 3 【MENU】キーを押す  
設定メニューが表示されます。
- 4 「ブザー」を選択し、【MENU】キーを押す

ホンタイセッテイ  
ブザー LCD

- 5 [←][→]キーを押して、音量を設定する

ブザー  
OFF 小 中 大

- 6 【MENU】キーを押す  
ブザー音量設定が完了し、待機画面へ戻ります。

## 3. バックライト設定

ディスプレイのバックライト点灯・消灯を設定します。

- 1 【MENU】キーを押す
- 2 [←][→]キーを押して、「ホンタイセッテイ」を選択する

メニュー  
ホンタイセッテイ

- 3 [→]キーを押して「LCD」を選択し、【MENU】キーを押す

ホンタイセッテイ  
ブザー LCD

- 4 [←][→]キーを押して、ON/OFFを選択する

LCD バックライト  
ON OFF

- 5 【MENU】キーを押す  
バックライト設定が完了し、待機画面へ戻ります。

## 4. 時計設定

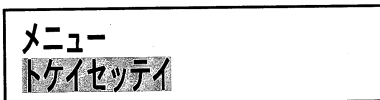
メインユニットの日時・時刻を設定します。

### MEMO

- 本機は、通信開始時に管理用パソコンの日時・時刻データと同期します。  
常に管理用パソコンの日時・時刻データを正しい情報に補正することで、正確な管理をおこなえます。

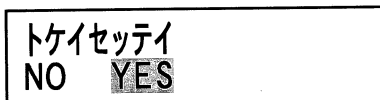
#### 1 [MENU]キーを押す

#### 2 [←][→]キーを押して、「トケイセツテイ」を選択する



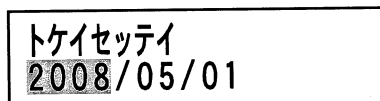
#### 3 [MENU]キーを押す

#### 4 [→]キーを押して、「YES」を選択する



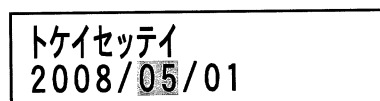
#### 5 [MENU]キーを押す

#### 6 [←][→]キーを押して、西暦年数を設定する



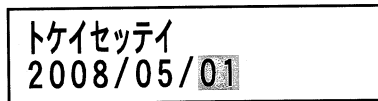
#### 7 [MENU]キーを押す

西暦年数が確定し、月の設定に移動します。



#### 8 [MENU]キーを押す

西暦月数が確定し、日の設定に移動します。

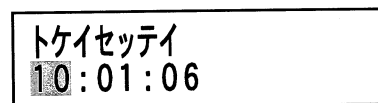


### MEMO

- 設定画面で[→]キーを押すと数値が[+1]され、[←]を押すと数値が[-1]されます。
- 設定画面で[MENU]キーを押すと、項目が確定します。

#### 9 時刻情報の設定をおこなう

「年月日」に続いて「時分秒」の時刻情報を設定します。



「秒」の設定が完了すると、設定情報が確定し、「待機画面」に戻ります。

!!注意!!

- 存在しない日付など、設定できない情報が入力された場合は、「セッテイエラー」が表示され入力情報は反映されません。  
正確なファイル管理をおこなうため、正しい情報を入力してください。



# 管理者メニュー操作

## 1. 管理者メニューの入りかた

本機の通信情報設定や初期化などは、管理者しかおこなえません。

管理者は管理者登録されたICカードを使用して「管理者メニュー」に入ることができます。

管理者の登録方法は「ファイリング・navi」取扱説明書（PCソフトウェア）を参照してください。

!!注意!!

- 管理者メニュー実行中はキャビネットアンテナの動作を停止します。RFIDタグの読み取りなど、ファイル管理はおこなえませんのでご注意ください。
- セットアップ時に管理者が登録されていない場合は、P.16の接続設定メニューを使用します。

1 【MENU】キーを押して「システムセッテイ」を選択する

2 【MENU】キーを押す

メニュー <カンリシャセンヨウ>  
システムセッテイ

管理者カードのタッチ画面が表示されます。

カンリシャカード  
タッチシテクダサイ

### ■MEMO■

- 【MENU】キーを押すと、待機画面に戻ります。

3 管理者登録されたICカードをタッチする

管理者メニューに入り、カンリシャメニューが表示されます。

カンリシャメニュー  
ID SETTING

### ■MEMO■

- 3分間無操作状態が続くと、自動的に待機画面に戻ります。
- 管理者登録されていないICカードでは、管理者メニューに入ることはできません。

## 2. 設定項目

管理者メニューで設定できる項目は下記の通りです。

No.	名称	内容	初期値	変更範囲	参照先
1	ID SETTING	本体IDを設定します	00001	00001～99999	→P.33
2	INITIAL SETTING	設定情報を出荷状態に戻します。 本機の設定情報や履歴データなどもすべて削除されます	—	—	→P.34
3	DATA ERASE	パソコンとの通信切断時に保存している履歴データを全て削除します	—	—	→P.34
4	PC SETTING	管理用パソコンのIPアドレスを設定します	192.168.0.69	—	→P.35
5	タナダン SETTING	棚の段数(段)を設定します	6	1～6	→P.35
6	CONNECT SETTING	パソコンとの通信切断時に、再接続確認間隔(秒)を設定します	180	60～999	→P.36
7	SELF TEST	セルフテストを実行します	—	—	→P.36

!!注意!!

●設定できないIPアドレスなど、設定できない情報が入力された場合は、「セッテイエラー」が表示され入力情報は反映されません。  
正確なファイル管理をおこなうため、正しい情報を入力してください。

### 3. 本体ID設定

本体IDを設定します。初期値では「00001」となっています。複数の「メインユニット」を管理する場合には、それぞれに個別の本体IDを設定してください。

#### 1 管理者メニューで「ID SETTING」を選択する

カンリシャメニュー  
ID SETTING

#### 2 [MENU]キーを押す

#### 3 ホンタイIDを設定する

ホンタイID  
00001

【←】を押すと数値が「+1」されます。

【→】を押すとカーソルが右に移動します。カーソルが末尾にある場合には先頭に移動します。

【MENU】を押すと設定確認画面に移動します。

#### 4 [→]キーを押して、「YES」を選択する

セッテイOK?  
NO YES

#### 5 [MENU]キーを押す

設定情報を確定し、再起動します。

!!注意!!

- メインユニットを複数接続する場合には、必ず個別のIDを設定してください。重複した本体IDでは管理用パソコンに接続することはできません。
- 「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)と、メインユニットの設定情報が正しく登録されていないと通信がおこなえません。  
詳しくは、「ファイリング・navi」取扱説明書(PCソフトウェア)を参照してください。

## 4. 本体初期化

設定情報を出荷状態に戻します。本機の設定情報や履歴データなどもすべて削除されます。

!!注意!!

●本体初期化処理を実行すると、本体のデータが全て消去されます。  
通信設定情報もすべて初期化されます。初期化実行の際はご注意ください。

### MEMO

●本機のIPアドレス設定は、「Device Installer」でのみおこなうことができます。  
本体初期化処理ではIPアドレスの初期化はおこなえません。IPアドレスを変更したい場合には、「Device Installer」を使用してください。「Device Installer」は「ファイリング・navi」NV-S10同梱CD-ROMに収録されています。  
参照→「Device Installer」取扱説明書（PDF取扱説明書）

- 1 管理者メニューで「INITIAL SETTING」を選択する

カンリシャメニュー  
INITIAL SETTING

- 2 [MENU]キーを押す

- 3 [→]キーを押して、「YES」を選択する

ホントイショキカ?  
NO YES

- 4 [MENU]キーを押す

初期化を実行し、再起動します。

## 5. データ削除

本体に保存している履歴情報を削除します。

メモリには、パソコン通信切断時に保存した貸し出し情報やエラー履歴などが保存されております。

!!注意!!

●データ削除処理を実行すると、本体で保存しているデータが全て消去されます。一度消去した履歴情報は復元することができません。本データ消去処理を実行するまえに、パソコンと通信し、履歴情報を送信してください。

- 1 管理者メニューで「DATA ERASE」を選択する

カンリシャメニュー  
DATA ERASE

- 2 [MENU]キーを押す

- 3 [→]キーを押して、「YES」を選択する

データクリア?  
NO YES

- 4 [MENU]キーを押す

データ削除を実行し、再起動します。

## 6. 管理用パソコンのIPアドレス設定

接続先の管理用パソコンIPアドレスを設定します。

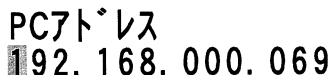
- 1 管理者メニューで「PC SETTING」を選択する



カンリシャメニュー  
PC SETTING

- 2 【MENU】キーを押す

- 3 管理用パソコンのIPアドレスを設定する



PCアドレス  
192.168.000.069

【←】を押すと数値が「+1」されます。

【→】を押すとカーソルが右に移動します。カーソルが末尾にある場合には先頭に移動します。

【MENU】を押すと設定確認画面に移動します。

- 4 【→】キーを押して、「YES」を選択する



セッテイOK?  
NO YES

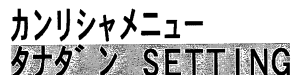
- 5 【MENU】キーを押す

設定情報を確定し、再起動します。

## 7. 棚の段数設定

棚の段数を設定します。

- 1 管理者メニューで「タナダン SETTING」を選択する



カンリシャメニュー  
タナダン SETTING

- 2 【MENU】キーを押す

- 3 棚の段数を設定する



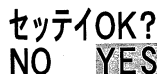
タナダンスウ  
6

【←】を押すと数値が「+1」されます。

【→】は無効なキーです。

【MENU】を押すと設定確認画面に移動します。設定できる段数は最大で6段です。

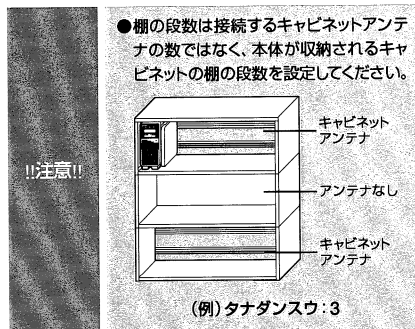
- 4 【→】キーを押して、「YES」を選択する



セッテイOK?  
NO YES

- 5 【MENU】キーを押す

設定情報を確定し、再起動します。

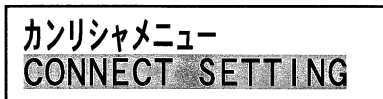


## 8. 接続間隔設定

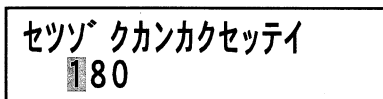
接続間隔を設定します。

- 1 管理者メニューで「CONNECT SETTING」を選択する

- 2 【MENU】キーを押す



- 3 接続間隔(秒)を設定する



設定値は「秒」です。

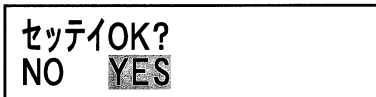
【←】を押すと数値が「+1」されます。

【→】は無効なキーです。

【MENU】を押すと設定画面に移動します。

60～999秒が設定可能です。

- 4 【→】キーを押して、「YES」を選択する



- 5 【MENU】キーを押す

設定情報を確定し、再起動します。

## 9. テストモード

テストモードは施行業者が施行時に確認のため使用するモードです。通常操作では使用しないでください。

No.	名称	内容	結果
1	LAN検査	パソコンとの通信を確認します	OK: 正常に通信できます NG: 通信できません
2	ROM検査	ROMを検査します	全てのアドレスの合計を表示します
3	RAM検査	RAMを検査します	OK: 正常 NG: RAMに異常があります
4	時計検査	時計を検査します	OK: 正常 NG: 時計機能に異常があります
5	表示・キー検査	ディスプレイとキー入力を検査します	ディスプレイ表示とキー入力を確認します
6	ブザー検査	ブザーを検査します	高音と低音を出力します

!!注意!!

●NGが発生した場合には、「故障かなとおもったら」をご確認ください。

参照→P.41 「故障かなとおもったら」

## 10. テストモードの操作方法

### ■MEMO■

キーの操作方法

- 【MENU】キーを押すと、検査を実行します。
- 各検査が終了後、【MENU】キーを押すと、次の検査を実行します。
- 検査終了後、【→】キーを押すと、順次全ての検査結果を表示します。

#### 1 管理者メニューで「SELFTEST」を選択する



カンリシャメニュー  
SELFTEST

#### 2 【MENU】キーを押す

#### 3 【→】キーを押して、「YES」を選択する



SELFTEST 1.00TM  
NO YES

#### 4 【MENU】キーを押す

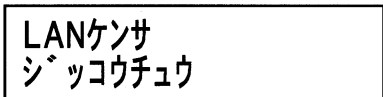
検査項目を表示します。



LANケンサ

#### 5 【MENU】キーを押す

検査実行中画面が表示されます。



LANケンサ  
ジッコウチュウ

#### 6 結果を表示します



LANケンサ  
OK

#### 7 【MENU】キーを押す

次の項目へ移動します。以降、【MENU】を押すと次検査を実行、移動します。

### ■MEMO■

- SELFTESTは、「LAN検査」→「ROM検査」→「RAM検査」→「時計検査」→「表示・キー検査」→「ブザー検査」の順に実行します。

「表示・キー検査」以降の操作方法は、次項以降を参照してください。

参照→P.38「11. 表示・キー検査」

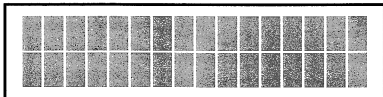
## 11. 表示・キー検査

- 1 時計検査実行後、表示・キー検査を実施します

トケイケンサ  
OK

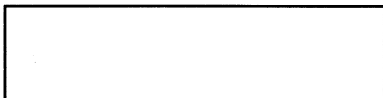
- 2 [MENU]キーを押す

全点灯画面を表示します。



- 3 [-]キーを押す

全消灯画面を表示します。



- 4 [→]キーを押す

0000000000000000  
0000000000000000

- 5 [MENU]キーを押す

表示・キー検査を終了し、ブザー検査を実施します。

フゝサゝーケンサ

## 12. ブザー検査

- 1 [MENU]キーを押す

フゝサゝーケンサ

- 2 [MENU]キーを押す

高音を再生します。

フゝサゝーケンサ  
フゝサゝー1サイセイ

- 3 [MENU]キーを押す

低音を再生します。

フゝサゝーケンサ  
フゝサゝー2サイセイ

- 4 [MENU]キーを押す

「テストモード」が終了します。

SELFTEST 1.00TM  
シュウリョウ

### ■MEMO■

- 検査終了後、[-]キーを押すと、全ての検査結果を順次表示します。

## 3. 付録

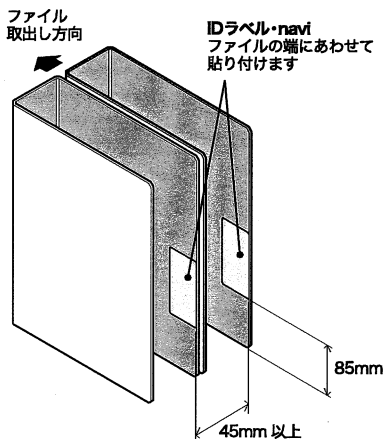
- IDラベル・navi貼り付け位置
- 故障かなとおもったら
- エラーメッセージ一覧
- お手入れについて
- おもな仕様
- アフターサービスについて



# 「IDラベル・navi」 貼り付け位置

別売品の「IDラベル・navi」は、下記の位置に貼り付けてください。

## 1. 垂直方向（ファイルなどに貼り付ける場合）



!!注意!!

**必ず、下記の注意事項をお守りください。**

●「IDラベル・navi」は、ファイルを開いた状態で右側のうら表紙に貼り付けてください。

おもて表紙に貼り付けると、ファイルの出し入れによる衝撃がかかり、破損するおそれがあります。

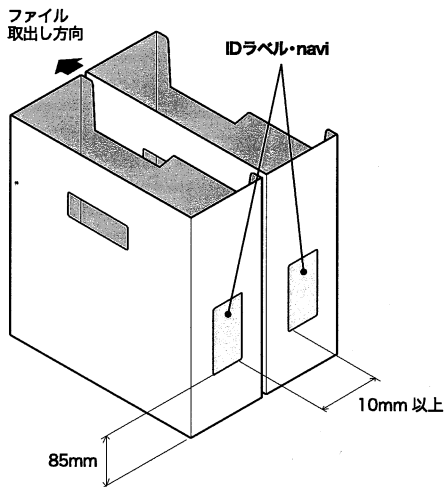
また、左側に貼り付けると他のRFIDタグと干渉し、正しく読み取りがおこなえません。

●「IDラベル・navi」の貼り付け間隔は、45mm以上のスペースを確保してください。近接して使用すると、正しく読み取りがおこなえません。

### MEMO

●「キングファイル・navi」は、ファイルを開いた状態で右側のうら表紙の中にRFIDタグを内蔵しています。

## 2. 水平方向（ボックスファイルなどに貼り付ける場合）



!!注意!!

●「IDラベル・navi」の貼り付け間隔は、10mm以上のスペースを確保してください。近接して使用すると、正しく読み取りがおこなえません。

●ボックスファイルに金属箱を収納しないでください。金属の影響により正しく読み取りがおこなえません。

# 故障かなとおもったら

## 正常な動作をしない

- 本機は電子機器のため、まれに静電気やその他の原因で、不具合を起こすことがあります。何も表示されなかったり、正常に動作しないときには、電源を入れなおしてください。

## ディスプレイに何も表示されない

- ACアダプタはしっかりと接続されていますか？  
本機のACアダプタを本体ACアダプタ差し込み口とコンセントにしっかりと差し込んでください。
- 専用ACアダプタを使用していますか？  
同梱のACアダプタ(AS1215J)以外のACアダプタをご使用になると本機の回路を破損したり、過熱するなど、大変に危険です。

## ICカードを受け付けない

- クロックオンカード(FeliCa対応非接触ICカード)を使用していますか？  
その他のカードでは、読み取りがおこなえません。
- 電波を妨げるもの(導電性のあるもの)と一緒にセットしていませんか？
  - ・他の非接触ICカード
  - ・タバコの銀紙やスクラッチカードなどアルミ箔を使用したもの
  - ・コイン・貴金属・鍵などの貴金属類
  - ・銀色地のポイントカード類などと一緒にセットすると正しく認識できません。
- ICカードが未登録ではありませんか？  
未登録カードをセットするとエラーが発生します。  
「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)より、ユーザー登録してください。

## 不正持ち出しエラー・閲覧権限エラーが発生する

- RFIDタグ付ファイルは正しくセットされていますか？
  - ・キャビネットアンテナの読み取り範囲に正しくセットしてください。
  - ・ファイルをアンテナ面にまっすぐ突き当ててセットしてください。
- IDラベル・naviは正しい位置に貼り付けていますか？  
正しい位置に貼り付けないと、読み取りがおこなえません。
- ICカードが未登録ではありませんか？  
未登録カードをセットするとエラーが発生します。  
「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)より、ユーザー登録してください。
- 閲覧権限は正しく設定されていますか？  
「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)より、ユーザーの閲覧権限もしくはファイリングルールに設定されている閲覧権限の設定情報を確認してください。

<次頁へ続く>

## 不正持ち出しエラー・閲覧権限エラーが発生する <続き>

### ■ファイルに金属類を収納していませんか？

CD-ROMなどの光学ディスクや金属類を収納していると、正しく読み取りがおこなえません。

### ■コントロールキットは正しくセットアップされていますか？

アンテナケーブルの配線方法やアースの接続が正しくされていないと、読み取りが不安定になり、読み落としが発生する場合があります。正しくセットアップをおこなってください。

### ■本機は常時RFIDタグの読み取りをおこなっておりますが、まれに静電気やその他の原因で読み落としが発生することがあります。

ファイルの操作をおこなっていないのに不正持ち出しエラーが発生した場合には、キャビネットにファイルがあるか確認してください。

## パソコンと通信しない

### ■管理用パソコンのIPアドレスは正しく設定されていますか？

管理用パソコンのIPアドレスを確認してください。

### ■本体IDは重複なく、正しく登録されていますか？

本体IDは個別のID番号を登録してください。

### ■導入時の購入セットが正しく登録されていますか？

「ファイリング・navi」(PCソフトウェア)より、導入時の購入セットが「ソフト+メインユニット」であることを確認してください。

### ■ネットワーク機器は正しく接続されていますか？

コネクタの外れやスイッチングハブの電源など、機器の接続を確認してください。

## 時計が正しく表示されない

### ■パソコンの時計は正しく設定されていますか？

本機はパソコンとの初回通信時と、毎日0時に、管理用パソコンの時計と同期します。パソコンの時計を正しく設定してください。

## ブザー音がしない

### ■ブザー設定がOFFになっていませんか？

ブザー音設定を確認してください。

### ■本機はアンテナごとに、RFIDタグの読み取りを順次おこなっているため、ファイルを取り出すタイミングによっては、エラー発生時のブザー音が鳴るまでに時間がかかる場合があります。

# エラーメッセージ一覧

メッセージ	説明	ブザー音
ツウシンセツタ <sup>ン</sup> チュウ	本機と管理用パソコンとの通信が切断しました。ファイル管理情報は、本体メモリに保存します。	ビー (3秒間)
ホンタイトウロクエラー	本体IDが重複しているか、本機と管理用パソコンとの設定情報が異なっています。設定を変更してください。	ブー (1回)
デ <sup>タ</sup> エラー	データエラーが発生しました。管理用パソコンでエラーログを確認してください。	ブー (1回)
デ <sup>タ</sup> バ <sup>ス</sup> エラー	データベースと接続できません。パソコンの設定を確認してください。	ブー (1回)
キト <sup>ウ</sup> エラー!! サイキト <sup>ウ</sup> シテクタ <sup>サイ</sup>	本体起動中に通信が切断しました。本機の電源を入れなおして、再起動してください。	なし
ケイコク! カート <sup>ナシ</sup>	不正持ち出しが発生しました。ファイルを元に戻して、再度、ICカードをセットしてください。	ビビビビ... (30秒間)
ケイコク! ケンゲ <sup>ン</sup> イハン	権限違反が発生しました。権限設定を確認してください。	ブー (1回)
ケイコク! ミトウロクカート <sup>ナシ</sup>	ICカードが登録されておりません。管理用パソコンより登録してください。	ブフッ (1回)
ケイコク! ファイルイチイハン	ファイルが不正な位置に返却されました。正しい位置に返却してください。	ブフッ (1回)
ケイコク! セツテイエラー	設定に誤りがあります。設定内容を確認し、正しい情報を設定してください。	なし
ケイコク! ソフトバ <sup>ス</sup> ジ <sup>ョ</sup> ンエラー	本機のソフトバージョンが異なります。管理用パソコンからソフトアップデートを実行してください。	ビビビビ... (3秒間)

# お手入れについて

## 本機外側の汚れ・ほこりは

■乾いたやわらかな布で拭き取ってください。特に汚れがひどい場合は、固く絞ったぬれぞうきんで拭き取ってください。ベンジン・シンナー・アルコールなどの溶剤・薬剤や化学雑巾の使用は絶対におやめください。

# おもな仕様

## ■使用条件

使用場所：屋内使用  
 動作温湿度：5～35℃ / 20～80%RH  
 保存温湿度：-10～40℃ / 10～90%RH

## ■対応キャビネットサイズ 900mm幅：有効内寸法875mm以上

## ■メインユニット本体

寸法	W100×D270×H245 [mm]		
質量	約2,300 [g]		
送信周波数	13.56MHz		
対応ICカード	クロックオンカード (FeliCa対応非接触ICカード)		
インターフェイス	イーサネット	ビットレート	100Mbps / 10Mbps 自動切換
		伝送媒体	100BASE-TX / 10BASE-T
	シリアル通信	適合規格	RS-232C
		ボーレート	115.2kbps固定
		データ長	8bit
定格	電源電圧	専用ACアダプタ (AS1215J) 12 [V] 1.5 [A]	
	消費電力	4 [W]	
メモリ	1 [GB] フラッシュメモリ		
表示	TN液晶		
音	圧電ブザー (2音)		
時計	月差±30秒		
	カレンダー	2008年1月1日～2099年3月31日	
	時計バックアップ	170時間	

## ■R/Wコントローラ(日本信号製)

寸法	W170×D105×H24 [mm]			
質量	約350 [g]			
送信規格	ISO / IEC 15693			
送信周波数	13.56MHz			
対応RFIDタグ	専用「キングファイル・navi」/専用「IDラベル・navi」			
インターフェイス	イーサネット*	ビットレート	100Mbps / 10Mbps 自動切換	
		伝送媒体	100BASE-TX / 10BASE-T	
	シリアル通信	適合規格	RS-232C	
		ボーレート	115.2kbps固定	
		データ長	8bit	
	アンテナ出力	送信電力	1 [W] (at 50 [Ω])	
	セレクト出力	出力ポート	4bit	
	電源出力	DC12V±10% 200mA以下		
定格	電源電圧	専用ACアダプタ (US315-12) 12 [V] 1.25 [A]		
	消費電力	6 [W]		
適合規制	電波法施行規制第46条2第1項 誘導式読み書き通信設備			

\*本システムでは使用しません。

## ■マルチセレクト(日本信号製)

寸法	W170×D105×H24 [mm]		
質量	約350 [g]		
外部I/F	入力	セレクト信号	RJ-45×1
		アンテナ信号	RJ-11×1
	出力	アンテナ信号	RJ-11×16

# アフターサービスについて

## 保証書

- 保証書はお買い上げ販売店・お買い上げ年月日などの記入をお確かめの上、販売店よりお受け取りください。  
保証書裏面の保証規定内容をよくお確かめの上、大切に保管してください。

## 修理に出されるときは

- 保障期間内は保証規定に基づいて修理いたします。保障期間後でもご要望により修理いたします。お買い上げ販売店、または当社お客様相談室までご相談ください。  
なお、修理・検査をおこなうと、本機のメモリ情報は消去されます。あらかじめご了承ください。

## 最新情報について

- 「ファイリング・navi」に関する最新の情報は当社のホームページをご覧ください。  
ホームページアドレス <http://www.kingjim.co.jp>

## 別売品でお困りのときは

- 取扱説明書、キングファイル・naviなど別売品のご購入に際し、どこでどのようにして購入して良いかお困りのときは、お買い上げ販売店、または下記へお問い合わせください。

フリーダイヤル(全国共通) ナットクのパートナー  
**お客様相談室 ☎ 0120-79-8107**

携帯電話・PHSご使用の場合は、以下をご利用ください。

全国お客様相談室

東京 TEL 03-3864-1234 名古屋 TEL 052-935-4038

大阪 TEL 06-6263-1654 福岡 TEL 092-413-3977

受付時間：平日(月曜日～金曜日)午前9時～午後5時30分

「ファイリング・navi」コントロールキット

メインユニットNV100 取扱説明書

2008年9月 第2版



**KING JIM**

株式会社キングジム

東京都千代田区東神田二丁目10番18号 〒101-0031

©2008 Printed in Japan 06-②